

～「スマホ安全教室」開催～

今年度の「スマホ安全教室」は、小樽市小中学校情報モラル対策委員の藤平繁範先生を講師としてお迎えし、「スマホ・ゲーム・インターネットを考える～安全に利用するために～」と題してご講演いただきました。

最初に、中学生がスマホを使用しているDVDを見て、利用の仕方等について高校生の立場から問題点を考えるのと同時に、スマホで起きた問題をどのように解決していくべきかを考えました。

「歩きスマホ」「食事中的スマホ」「悪口の書き込み」「グループ外し」等の問題点が挙げられ、「歩きスマ



ホ」では視界が約20分の1になってしまうことや「食事中的スマホ」によって愛情不足を感じてしまう子どものことなどについて教えていただきました。また、スマホは便利ではあるけれど本人の真意が伝わらないといったことについては、直接会って話し合いの場を持って解決していくしかないのではないかといった意見も出されました。

藤平先生からは、アプリを利用するときの注意事項として「始める前に、やめる（退会する）方法を確認しておくべき」ということや「偽サイト」の判別の仕方、「個人情報の管理」といった本校の生徒にも直結する内容について豊富な具体例をもとに話していただきました。さらに、「スマホやアプリは誰でも利用できるが、情報を上手に活用していくことが必要である」ということが強調されました。生徒達は、依存症になってしまった人が1日15時間スマホを利用すると、1年間で228日、100才まで生きたとして62年間をスマホに費やすことになるということを聞き、大変驚いていた様子でした。

閉会にあたり校長先生からの謝辞で、情報化社会で生きていくうえでの困難さや注意しなければならないことや今回の講演を生徒はもちろんのこと教員も十分に生かしていきたいという言葉でスマホ教室を終了しました。

大変お忙しい中、また遅い時間にご講演いただきました藤平先生大変ありがとうございました。